

令和二年新春御挨拶

新年おめでとうございます。昨年新天皇が即位され、新元号令和の御代が始まりました。和道流も昨年創流八十五周年を祝い、三代宗家大塚博紀最高師範の新たな決意のもと、技術の向上と流儀の真の姿を世に知らしめるべく、諸活動を積極的に展開しました。

和道流のすべての会員には、本年も各地で開催される研修会・講習会をはじめ、地方大会、全国大会の場で、さらには全国研修会・講習会で直接最高師範の技術と理合に触れて戴きたい。流祖が如何なる考えで神道揚心流を修行継承し、その他柔術諸流派を研究吟味の上、和道流を創始されたか、二代宗家が家伝の秘技をどのように磨き上げ、公開されたかに思いを致せば、修行者は一歩でも半歩でも和道流の神髄を求めて進まなければならないでしょう。

本年から、今まで一部にしか伝えていなかった「基本組手の裏二十四本」を、順序に従って伝授することを三代宗家が決断されました。空手道として基本から形へ、形から基本組手へ、そして柔術拳法への道は、裏の組手、組手形、居捕、短刀捕、真剣白刃捕等々、すべては有機的につながっています。この道を歩むことによって、自身の体と心の変化に気づくとき、修行の目的の何ほどかが達成されるのではないのでしょうか。

会員諸氏の奮闘を願っております。

和道流空手道連盟会長 三代宗家 最高師範 大塚博紀
和道流空手道連盟理事長 坂巻明